

荒尾市地域公共交通網形成計画(平成 29 年度策定)の総括について

基本的な方針 1

市内の移動ニーズに対応した利便性の高い公共交通網の構築

【総括】おもやいタクシーの運行開始により、市全域を公共交通でカバーし、目標を達成した。一方、公共交通の満足度は、少ない便数で全ての利用者ニーズに応えることの難しさや、おもやいタクシーの登録・予約の心理的ハードルの高さから、満足度向上には至らなかった。

基本的な方針 2

広域的な移動ニーズに対応した隣接市町との連携による円滑な動線の確保

【総括】新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、移動の制約が大きい状況が続いたため、特に広域的な移動を担う西鉄バス大牟田(株)や JR 鹿児島本線の利用が大きく落ち込み、目標を大きく下回った。

基本的な方針 3

公共交通の新たな利用者の獲得とリピーターの確保

【総括】公共交通の新たな利用者を開拓するため、アクティブシニアに対するモビリティ・マネジメントの取組み等を行い、公共交通への転換を促進することができた。一方、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「3密」回避の流れから、公共交通利用が低迷し、目標未達となった。

基本的な方針 4

効率的で持続可能な公共交通事業の運営

【総括】移動実態やニーズを踏まえ、経営資源を効果的に配分するため、産交バス路線の一部を見直し、より効率的な運行に改善したが、利用者数が大幅に減少したことに伴い目標達成に至らなかった。

※計画に定める各事業の取組状況や課題については資料 1-2 に記載

基本的な方針	数値目標	計画策定時【H29】	中間評価【R1】	評価※1【R3】	目標【R4】	達成状況※2
1	路線バス・乗合タクシーの人口カバー率	81%	未調査	100%	85%	○
	65 歳以上の市民の公共交通満足度	17%	16%	17%	35%	△
2	路線バス利用者数 西鉄バス大牟田(株)	461,022 人	477,761 人	337,504 人	461,022 人	△
	路線バスの運行便数 (平日) 西鉄バス大牟田(株)	81 便/日	81 便/日	68 便/日	81 便/日	△
	JR 荒尾駅乗車人員 (現状値は 2017 年度)	1,172 人/日	1,054 人/日	776 人/日	1,500 人/日	△
	荒尾駅一大牟田駅間の 鉄道本数(平日)	90 本/日	90 本/日	90 本/日	90 本/日	○
3	路線バス利用者数 産交バス(株)市内路線	222,627 人	222,123 人	143,646 人	238,000 人	△
	乗合タクシー利用者数	7,706 人	7,345 人	4,725 人	10,000 人	△
	直近 1 年間で路線バス を利用した市民の割合	—	20%	10%	40%	△
4	路線バス 1 便当たり乗 車人数産交バス(株)市内 路線	7.0 人	7.0 人	5.3 人	7.5 人	△

※1：新型コロナウイルス感染症の影響により、特異値であることに留意が必要

※2：目標達成は○、目標達成に向け各種施策を実施したが改善に至らなかったものが△